

Junior Sport Clubs



茨城のスポーツ少年団



2026.3.31

Vol.46



公益財団法人
茨城県スポーツ協会
茨城県スポーツ少年団 HP



茨城県スポーツ少年団
本部長 鈴木 孝子

平素より本県スポーツ少年団事業に対しご尽力を賜り、誠にありがとうございます。

今年度の全てのスポーツ少年団事業におきましては、スポーツ少年団指導者並びに関係の皆さま方のご協力により、無事に実施することができました。心より感謝申し上げます。

現在、急速な少子化や学校部活動の地域展開などにより、子どもたちを取り巻くスポーツ環境は、大きな変革期を迎えており、子どもたちが将来にわたって継続的にスポーツに親しむ機会を確保していくためには、地域における新たな環境整備が求められております。

その中でも、スポーツ少年団は、生涯スポーツにつながる新たな役割を担っており、地域の子どもたちを育てる意識の下、地域のスポーツ・文化資源を最大限活用し、ニーズに応じた多様な豊かな活動を表現することが求められています。団数、団員数、指導者数において全国トップレベルを誇る本県スポーツ少年団活動のより一層の充実を図り、今後も、一人でも多くの子どもたちにスポーツの喜びを伝えることができますよう、ご協力の程、よろしくお願いたします。

結びに、各スポーツ少年団の皆さま方のさらなるご活躍を祈念し、挨拶いたします。

国の動向

《改革の期間》

期間	R5 (2023)~R7 (2025)	R8 (2026)~R10 (2028)	R11 (2029)~R13 (2031)	
改革の内容	<p>＜改革推進期間＞ ガイドラインにおいて、部活動を学校から地域クラブ活動へと整備する方針を示す。</p> <p>[地域クラブの在り方] ○運営団体・実施主体の整備 ○協議会などの体制整備 ○人材バンクの整備 ○意欲ある教師等の兼職兼業 等</p> <p>[地域移行の進め方] ○まずは休日の環境整備を推進 ○平日はできるところから ○段階的な体制整備を進める(運営団体の整備) ○地域の実情に応じて、可能な限り早期の実現を目指す</p> <p>[大会の在り方] ○大会参加資格の見直し(地域クラブ会員の参加) ○全国大会の在り方の見直し</p>	<p>＜改革実行期間＞ 前期→中間報告→後期</p> <p>[名称] ○「地域展開」に変更 ・学校内で運営されてきた活動を広く地域に開き、地域全体で支えていく。 ・新たな価値を創出し、より豊かな幅広い活動を可能とする。 ※ガイドライン改訂時に変更</p> <p>[改革の方向性] ○休日…次期改革期間内に、原則全ての学校部活動で地域展開の実現を目指す。(公的負担は、国・都道府県・市町村で支え合うことが重要) ○平日…各種課題を解決しつつ更なる改革を推進。 前期において活動の在り方や課題への検証を行い、中間評価で取組方針を定める予定。</p> <p>[費用負担の在り方] ○受益者負担と公的負担とのバランス等の費用負担の在り方を検討(公的負担は、国・都道府県・市町村で支え合うことが重要) ○経済的に困窮する世帯の生徒への支援 ○部活動指導員の配置については、一定の範囲で支援</p> <p>[ガイドラインの策定] ○令和7年12月 文部科学省 「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」</p>		

【市町村における地域展開の取組状況(事業化)】

	市町村数(44市町村)
令和5年度	20市町村 国実証事業: 16 独自事業: 4
令和6年度	36市町村 国実証事業: 32 独自事業: 4
令和7年度	41市町村 国実証事業: 36 独自事業: 5

【重点地域(5市)の事業内容】

市	政策課題への取組内容
土浦市	○多様なスポーツ機会の提供
つくば市	○体育・スポーツ系の大学生、パラアスリート等を含むアスリート人材等の活用
守谷市	○企業版ふるさと納税等を含む民間資金の活用
神栖市	○動画コンテンツ等の活用
取手市	○企業版ふるさと納税等を含む民間資金の活用

【人材バンクリーフレット】



【県地域クラブ活動人材バンク登録者数】

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
登録者数	299人	435人	630人 (R7.12.23現在)

【人材バンク登録QRコード】



地域クラブ活動に関する認定制度の概要

認定スキーム

- 国が示す認定要件等に基づき、市区町村等が認定を実施
 - 地域クラブ側からの申請を受け、市区町村等において審査の上、認定
- 認定後も、市区町村等が適切に指導助言等を実施
- ※国が示す認定要件に沿って、市区町村等が自ら運営する地域クラブ活動については、認定したものとみなす
- ※認定の有効期間は、最長3年間の範囲内で、地域の実情に応じて市区町村等において認定

地域クラブ活動を担う団体

申請
← 認定

市区町村等

認定要件

事項	主な内容
①活動の目的・理念	・学校部活動が担ってきた教育的意義の継承・発展、生徒の豊かで幅広い活動機会の保障(選抜等を行わず、参加を希望する生徒を幅広く受け入れることを含む)
②活動時間・休養日	・平日は1日2時間程度以内、休日は1日3時間程度以内 ・週2日以上の休養日を設定(休日のみ活動する場合は、原則、土日どちらかを休養日に設定)
③参加費等	・活動の維持・運営に必要な範囲で可能な限り低廉な参加費等を設定(国が示す目安を踏まえる)
④指導体制	・暴力・暴言・ハラスメント・いじめ等の不適切行為の防止徹底(日本版DBSの活用を含む) ・市区町村等が定める研修を受講し、登録された指導者等による指導(※) (※)「認定地域クラブ活動指導者」登録制度を構築(研修メニュー例、登録要件・手続等、不適切行為への対応等について規定)
⑤安全確保	・生徒の健康状態や気温等を考慮した適切な活動、施設・設備等の点検、緊急時の連絡体制整備 ・怪我等を補償する保険及び個人賠償責任保険への加入(参加者及び指導者等)
⑥運営体制	・関係法令の遵守、規約等の作成・公表、公正かつ適切な会計処理、営利を主目的とせず運営
⑦学校等との連携	・活動方針やスケジュール、生徒の活動状況等に関する情報共有

(※)円滑な実施の観点から、一定期間の経過措置を設ける(原則として令和8年度末まで)

想定される認定の効果(メリット)

- ①生徒・保護者等に対する市区町村等による情報提供
- ②地域クラブ活動の運営等への公的支援(財政支援、学校施設等の優先利用・使用料減免、学校備品等の活用等)
- ③地域クラブ活動への従事を希望する教師等の兼職兼業
- ④生徒の大会・コンクールへの円滑な参加

派遣団員

日独スポーツ少年団
同時交流を終えて

佐藤 晴紀

私は、今回第52回日独スポーツ少年団同時交流に参加して多くの経験、多くの友情を深めることができました。初めての海外ということもあり、緊張や不安があった2週間でしたが、最後は笑顔で終えることが出来たことに感謝します。

最も印象に残っていることは、現地で体験したスポーツ活動です。関東IIグループでは武術をやっているランゲーンダンバツハ日本武道文化協会に受入をしてもらい、そこでは、日本独自の柔道や空手以外に、ドイツ側のあらゆる種類の武術の体験やトレーニングをすることが出来たことです。技の練習では、フォームや足の置き方、手の払い方など、体を使ってわかりやすく教えていただき、年齢、性

別、言語などを超えて多くの人と繋がるという体験ができました。

次に、今回のテーマである「SDGs x スポーツ」に関する議論では、日本とドイツでのSDGsの捉え方や取り組みについてたくさん話し合うことが出来ました。教育やスポーツの在り方に違いが見られる一方で、「楽しさを共有する」、「自分たちの将来に関わることを学ぶ」という共通した姿勢が存在していることがわかりました。また、団長団とリンブルク地区行政事務所を表敬訪問した際には、ドイツと日本におけるスポーツ制度の違いや運営にかかるコストについて意見を交わしました。両国ともにスポーツができる環境を整えることの重要性が確認され、さらにそれに伴い指導者の育成や教育現場でのスポーツ強化の必要性についても共有することができました。

今回の交流で学んだ国際

的な視点やSDGsの意識を、今後のスポーツ活動や地域での取り組みに活かし、仲間と共により良い未来づくりに貢献していきたいです。

Danke Schön!

日独スポーツ少年団
同時交流を終えて

森 一貴

今回の日独スポーツ少年団同時交流で様々な経験をしてみ、ドイツが思うスポーツと日本が思うスポーツの違いについて自分自身で体験ができ、色々なことを学びました。私が日独スポーツ少年団同時交流で直面した課題では、言語の壁やドイツ食と日本食の違い、硬貨の色などについてです。

まず、言語の壁です。ドイツではドイツ語が使われており、その他にも英語を話せる人もいました。私は、ドイツ語を簡単な単語しか話すことができなくてホームステイ先

や観光しているときに翻訳アプリを使って会話をしたりしました。ですが、自分が知っている英語の言葉を頑張って使い翻訳アプリ無しでできるようにチャレンジしたことです。

次に、ドイツ食と日本食の違いについてです。ドイツでは、主にパンやパスタなど小麦でできている食べ物を主食にしていました。他にも地域の郷土料理など様々な料理があり、その中にはあまり自分の口に合わない食べ物もありました。その時はホストファミリーに正直に伝えました

が、あまり口に合わない食べ物は少なくドイツの有名な食べ物や沢山食べることができました。

直面した課題の最後は、硬貨の色についてです。ドイツの紙幣は一枚一枚わかりやすい色をしているのですが、硬貨の色が1セントと2セント、5セントが銅の色をしており、その他の違いは硬貨の大きさだけでした。また、10セント、20セント、50セントも似たような色をしており違いは大きさがなく、買い物をして会計するときになかなかスムーズに支払いできませ

んでした。他には、硬貨で1ユーロと2ユーロがありこちらの硬貨は外側と内側の色がそれぞれ違う色をしているので、比較的見つけやすかったです。硬貨をスムーズに支払いで出すには、事前にレジに行く前に買った分の硬貨を財布から出しておくのが一番いい方法だと思いました。

日独スポーツ少年団同時交流でチャレンジしたことは色々ありますが、特に積極的にチャレンジしたことが2つあります。

1つ目はドイツの人たちに積極的に話しかけたことです。私は初対面で会う人がいと緊張してしまいあまり話すことができなくなってしまいました。ですが、少しずつ話をするようになってから日に話しやすくなり仲良くなることができました。

2つ目は、ドイツの人たちとスキンスリップをするようにしたこと。ドイツの人はちはお話するときにはスキンスリップをしていました。日本ではあまり考えられないと思いましたが、ドイツの人たちには会うときはなるべくそういったスキンスリップをするよ

うにチャレンジしました。日独スポーツ少年団同時交流期間中に気づいたことは、ドイツではトイレなど公共施設内にある場所はすべて有料で、レストランなどのトイレは無料でできるということが日本とは違うと思えました。

また、日本とは違い、ドイツの高速道路は無料で、ここからが高速道路なのかわかりづらいなと思いました。

他には、ドイツ建物は網戸などがなく窓が開いている状態なので、家の中など虫が多かったのでホームステイ先で生活していた時は、虫が多い夜などは窓を開けないように工夫しました。

今回の日独スポーツ少年団同時交流で成長できたことはコミュニケーション力が上がったことです。

この同時交流が始まる前は、人と話すことに苦手意識がありました。ですが、今回の同時交流で沢山の人と関わりドイツではお世話になる人たちと日本の話やドイツの話など様々なことを話したりして、コミュニケーション力が上がったと思えました。

受入家族

チャレンジ

小澤 浩美

すでに嫁いだ一番上の娘から、「私、ホストファミリーになってみようと思うんだけど、母もやりなよ。」と勧められたことで今回のホストファミリー募集のことを知った私。まったく英語の話せない私にとって、それはとても

勇気のいることでしたが、15歳の息子は将来留学を希望しており、受け入れる側の立場に立つことも親子共に良い経験になるのではないかと考え、「不安だけれど三人でチャレンジしてみないか」と家族にも話し、夫も息子もそれに賛同してくれました。

ウエルカムパーティーでは、キリアンの社交的な性格に助けられたこともあり、言語が違っても楽しく過ごせるとすぐに気づき、不安も吹き飛びました。

キリアンはとても明るく周りに気配りができるドイツの地方プロジェクトのリーダーでした。ケニスも口数は少ないですが、誠実で真面目な男の子でした。スポーツマンだから夜21時以降はソーダは飲まないとのこと。

納豆、梅干し、みそ汁などの日本独自の食べ物にもチャレンジした二人。「good」と親指を立て、毎回私の用意した料理をほめてくれました。夕食後には卓球やトランプ、オセロ。近所迷惑になるのではないかとヒヤヒヤするほど、大盛り上がりでした。

ファミリデーには、大洗磯前神社と大洗サンビーチを散策し、回転寿司を食べ、午後からはボウリング大会をしました。その日のクライマックスとしては、今回のホストファミリー仲間にお声をかけていただき、東海村の花火大会を栈敷席で観覧しました。

二人がいた期間中、「こんなにいい子たちが二人も我が家に来てくれて幸せだね。」という言葉を夫と何度も交わしました。終始笑顔で接してくれたキリアン、いつも感謝し、たくさん食べてくれたケニス。

私たち家族は今、ドイツ団口です。息子は今回の受け入れで、来年は自分がドイツに行きたいと決意したようです。最後に、このような機会を提供してくださった藤沼さんをはじめとするスポーツ協会の方々には心より感謝申し上げます。

この度、思いがけず少年団サイドから今回のホームステイ受入れの案内があり、娘たち（高一、中二）にとっても良い機会となると思い応募いたしました。

我が家に来たのはSina。ケニスをやりながら、色々なことに挑戦する聡明な学生です。非常にオープンかつフレンドリーで、英語も堪能なため（私たちはドイツ語が話せない）、すぐに打ち解け、家族の一員になってくれました。以前よりドイツ語を学んでいた妻の母が甥と参戦。同じくドイツ語を学び始めた妻の友人の長女（中一）も参加し、Sinaも含めて総勢8人と猫3匹の賑やかなホームステイとなりました。

ファミリデーはあいにくの雨模様になりましたが、茨城北部ドライブを敢行。お魚センター、河原子海岸、五浦海岸の六角堂、そして袋田の滝と茨城が誇る名所を回り、Sinaも「とても綺麗だった」と喜んでくれました。夜は、他のホストファミリーが譲ってくれたチケツトを手に東海村の花火大会を特等席で観覧。音楽と光の素晴らしい共演に皆で酔いしれました。終了後、小腹が空いたので、Sinaの好きなラーメンを食べに行きました。ロングドライブで疲れましたが、参加者全員、大満足の日となりました。

期間中の夜も楽しみ、色々な話をするだけでなく、娘たちが好きなボードゲームもいっぱいやりました。子供達だけで英語に挑戦しながら楽しい時間を過ごしてくれたのが嬉しかったです。中でもairgoというゲームが好きになり、それをプレゼントしたところ、Sinaは大喜び。ドイツに帰国後、家族とともに楽しんでくれ、その時の写真を茨城滞在中に作った水府提灯入りで送ってくれました。きっと日本での出来事を良い思い出としてドイツに持ち帰り、家族とも共有してくれたんだと思います。

長女は「ドイツの大学に行こうかな」と話すなど、娘たちにとっても素敵な4日間となったようで、今回、思い切っ

てホームステイ受け入れを行って本当によかったです。

期間中の夜も楽しみ、色々な話をするだけでなく、娘たちが好きなボードゲームもいっぱいやりました。子供達だけで英語に挑戦しながら楽しい時間を過ごしてくれたのが嬉しかったです。中でもairgoというゲームが好きになり、それをプレゼントしたところ、Sinaは大喜び。ドイツに帰国後、家族とともに楽しんでくれ、その時の写真を茨城滞在中に作った水府提灯入りで送ってくれました。きっと日本での出来事を良い思い出としてドイツに持ち帰り、家族とも共有してくれたんだと思います。

ドイツスポーツ少年団のSinaを受け入れて

石川 正男

この度、思いがけず少年団サイドから今回のホームステイ受入れの案内があり、娘たち（高一、中二）にとっても良い機会となると思い応募いたしました。

我が家に来たのはSina。ケニスをやりながら、色々なことに挑戦する聡明な学生です。非常にオープンかつフレンドリーで、英語も堪能なため（私たちはドイツ語が話せない）、すぐに打ち解け、家族の一員になってくれました。以前よりドイツ語を学んでいた妻の母が甥と参戦。同じくドイツ語を学び始めた妻の友人の長女（中一）も参加し、Sinaも含めて総勢8人と猫3匹の賑やかなホームステイとなりました。

ファミリデーはあいにくの雨模様になりましたが、茨城北部ドライブを敢行。お魚センター、河原子海岸、五浦海岸の六角堂、そして袋田の滝と茨城が誇る名所を回り、Sinaも「とても綺麗だった」と喜んでくれました。夜は、他のホストファミリーが譲ってくれたチケツトを手に東海村の花火大会を特等席で観覧。音楽と光の素晴らしい共演に皆で酔いしれました。終了後、小腹が空いたので、Sinaの好きなラーメンを食べに行きました。ロングドライブで疲れましたが、参加者全員、大満足の日となりました。

期間中の夜も楽しみ、色々な話をするだけでなく、娘たちが好きなボードゲームもいっぱいやりました。子供達だけで英語に挑戦しながら楽しい時間を過ごしてくれたのが嬉しかったです。中でもairgoというゲームが好きになり、それをプレゼントしたところ、Sinaは大喜び。ドイツに帰国後、家族とともに楽しんでくれ、その時の写真を茨城滞在中に作った水府提灯入りで送ってくれました。きっと日本での出来事を良い思い出としてドイツに持ち帰り、家族とも共有してくれたんだと思います。

長女は「ドイツの大学に行こうかな」と話すなど、娘たちにとっても素敵な4日間となったようで、今回、思い切っ

てホームステイ受け入れを行って本当によかったです。



令和7年度日本スポーツ少年団顕彰表彰登録者



令和8年1月24日(土)に、久慈サンピア日立で、令和7年度日本スポーツ少年団顕彰表彰登録者への「表彰授与式」が行われました。今年度の受賞者は、以下の6名でした。

①経歴 ②功績

1 佐々木 敬一(日立市)

① 日高ミニバスケットボールスポーツ少年団 指導者

② 日立市スポーツ少年団指導者協議会の委員として各種行事への積極的な参加や運営、日立市の指導者の資質向上に努めている。

2 滑川 和之(日立市)

① 宮田野球スポーツ少年団 指導者

日立市スポーツ少年団 指導者協議会会長兼常任理事

② 単位団の指導者として熱心に活動しながら、指導者協議会会長兼常任理事として各種行事への積極的な参加や運営、日立市の指導者の資質向上に向けて尽力している。

3 小松原 剛(牛久市)

① 牛久ソフトテニススポーツ少年団 指導者

牛久市スポーツ少年団 副本部長兼常任委員

② 牛久市内唯一のソフトテニススポーツ少年団の設立に努め、対象を中学生まで拡充、市外の諸団体と連携した交流大会を開催する等、地域のスポーツ活動の活性化と青少年の健全育成に尽力した。

4 相良 裕一(牛久市)

① 牛久剣友会スポーツ少年団 指導者

② 単位団の指導者として熱心に活動しながら、少年団活動の普及のため、地域クラブチームや中学校の部活動と定期的に情報交換を行う等、青少年の健全育成に尽力している。

5 米川 優(日立市)

① 東金沢バドミントンスポーツ少年団 指導者

日立市スポーツ少年団 指導者協議会

② 平成21年から日立陸上クラブスポーツ少年団の指導者として団員の健全育成に努めながら、日立市スポーツ少年団指導者協議会の一員として日立市のスポーツ発展に尽力した。

6 岡 光浩(ひたちなか市)

① 前渡ソフトボールスポーツ少年団 指導者

② 平成15年から、単位団の指導者として熱心に活動しており、前渡ソフトボールスポーツ少年団団長として、団員の技術向上、青少年の健全育成に尽力した。

受賞者の声

滑川 和之

この度は、日本スポーツ少年団顕彰を頂きまして感謝申し上げます

私が、スポーツ少年団に関わったきっかけは、息子が「野球をやりたい。」と言った一言からです。本人がやりたいと言うのであればと、近くの野球少年団にお世話になることにしました。当時は、今のような制限がない時代であったので、平日も練習がありました。

ある時、時間が取れた日があり、小学校のグラウンドに様子を見に行った時の事です。息子が集合場所に向かわず、小学校の隅を通って帰ろうとしている姿を目にしました。練習に参加するように声を掛けようとしたところ、当時の団長からこんな言葉を掛けられました。

「子どもは、やる気が出れば自分から来るものなんだよ。今日は、やる気が出ないだけだから、次は練習に参加すると思うから大丈夫だよ。」と言われました。

その言葉で、この少年団は、子どもを第一に考えている少年団だと私は思い、お手伝いをするようになりました。

それから二十六年いろいろありますが、今でも精進して参りたいと思います。

ジュニア・リーダーズスクールに 参加して

東金沢バドミントン

立花 來留美

私は、三日間のジュニア・リーダーズスクールを通して、様々なことを学び、たくさんの経験をさせていただきました。その中で、特に心に残っていることがあります。



ここで、「なにを」、「どのようにして」行うのかということが、それぞれの活動のイメージとしてまとめられ、学校での勉強や生活に必要な活動など、やるべきことを行った上で、自由時間に楽しむことが大切だということが分かりました。また、スポーツ少年団は、一九六二年六月二十三日に誕生し、そのころはまだ、団員が七百五十三人、二十二団体しかありませんでした

それは、「スポーツ少年団とは」、「スポーツ少年団」とは」の講義では、スポーツ少年団は、スポーツ活動を中心に地域の中で活動する団体であり、「誰が」、「いつ」、「ど

二つ目に行った「スポーツ少年団のリーダーとは」では、望まれるリーダーとして考え方を深める力（コンセプトアルスキル）、人とふれ合う力（ヒューマンスキル）、活動を営む力（テクニカルスキル）の三種類がジュニア・リーダーの資質と能力になっていることが分かりました。



これからも、リーダーとなるためにも、スポーツを続け、何事にも積極的に取り組もうと思います。

学んだこと

神栖柔道スポーツ少年団

落合 悠

僕は、幼稚園から小学生になるタイミングで神栖柔道スポーツ少年団に入団し、今年で八年目となります。僕は、長年続けてきた柔道が好きで「自分も教える側になりたい」という気持ちからジュニア・リーダーズスクールに参加しました。僕が、この一泊二日の研修期間で学んだことで、特



に印象深かったことが二つあります。

一つ目はリーダーとしてあるべき姿を心がけて生活することができた点です。中学三年生が一人しかないことに不安を感じ、最初はものすごく緊張していて周りの人と話すこともままなりません

た。しかし、講習の内容でリーダーには人とふれ合う力、活動を営む力、考え方を深める力が求められると教えてもらい、先輩のリーダーの方々も



気さくに話しかけてくれたため、僕も頑張ろうと思えました。その後、僕は班長になって班の人たちをまとめることができました。ここでの経験を学校やスポーツ少年団でも活かしたいと思います。

二つ目は、単位団についてです。講習では、単位団の規模は縮小傾向にあると説明されました。それを聞き、僕は地域との関わりも大切にしていきたいと考えました。それなので、僕は、シニアリーダーを目指していきたいと思えました。これからのスポーツ少年団は、僕たちがつくっていくという事を胸に、これからもスポーツ少年団で頑張ろうと思えました。

この一泊二日で、スポーツ少年団について様々なことを学びました。スポーツ少年団だけでなく、日常生活にも生かしたいと思えることがたくさんありました。この期間で学んだことを忘れずに、これからも柔道や勉強に励んでいきたいと思いました。

この期間中に指導して下さった先生方、先輩のリーダーの方々、ありがとうございました。

令和7年度スタートコーチ（ジュニア・ユース）養成講習会

No.	コース名	期 日	場 所	修了者
1	銚田市	令和7年 8月 2日（土）	とくしゅくの杜 会議室	14名
2	つくば市①	令和7年 8月 9日（土）	つくば市役所 201会議室	82名
3	笠間市	令和7年 8月10日（日）	笠間市役所本庁 会議室	22名
4	水戸市	令和7年 8月23日（土）	アダストリアみとアリーナ 2階会議室	23名
5	那珂市	令和7年 8月23日（土）	総合センターらぼーる 研修室	22名
6	鹿嶋市	令和7年 9月 7日（日）	鹿嶋市大野公民館 会議室	19名
7	牛久市	令和7年 9月20日（土）	牛久市運動公園武道館 会議室	15名
8	坂東市	令和7年 9月20日（土）	岩井公民館風の砦 会議室	23名
9	茨城町	令和7年 9月21日（日）	茨城町駒場庁舎 2階会議室	15名
10	筑西市	令和7年 9月23日（火・祝）	ザ・ヒロサワ・シティ体育館 研修室	33名
11	桜川市	令和7年10月26日（日）	桜川市生涯学習センター「さくらす」 会議室	24名
12	守谷市	令和7年11月 1日（土）	もりや学びの里 講座研修室	12名
13	取手市	令和7年11月 9日（日）	TAC取手グリーンスポーツセンター 研修室	19名
14	土浦市	令和7年11月15日（土）	新治地区公民館 集会室	18名
15	つくば市②	令和8年 1月17日（土）	つくば市役所 201会議室	72名

本講習会は、「公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度」に基づき、ジュニア・ユース期のスポーツ指導において、スポーツ少年団をはじめ、総合型地域スポーツクラブ、学校運動部活動等の地域スポーツの場で活躍できる人材（資質能力を備えた指導者）を育成することを目的に開催しています。

この資格を取得すると、スポーツ少年団において「スポーツ少年団の理念を学んだ指導者」として登録することができます。

なお、今年度からカリキュラムや受講方法が変わっておりますので、詳しくは本協会ホームページ（右記QRコード）をご確認ください。



令和7年度アクティブ チャイルド プログラム (JSPO-ACP) 都道府県普及促進研修会

コース名	期 日	会 場	参加者数
常総市	令和7年 8月23日 (土)	常総市石下総合体育館	12名
日立市	令和7年 9月28日 (日)	池の川さくらアリーナ	42名
東海村	令和7年11月16日 (日)	東海村総合体育館	28名
古河市	令和7年11月22日 (土)	古河市イーエスはなもも体育館	11名

アクティブ チャイルド プログラム (JSPO-ACP) 都道府県普及促進研修会とは、日本スポーツ少年団が、子どもが発達段階に応じて身につけておくことが望ましい動きを習得する運動プログラムとして開発した、アクティブチャイルド プログラムを全国に周知・普及することを目的に、都道府県スポーツ少年団との共催により実施している事業です。

各会場において、スポーツ少年団関係者や総合型地域スポーツクラブ関係者等が受講し、講義では子供に対する知識や指導法を学び、実技では実際に受講者同士で子供達と一緒に楽しめるような運動遊びを体験しました。

また、この研修会は日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格の更新研修となります。スポーツ少年団関係者が多く取得している資格として、「スタートコーチ (ジュニア・ユース)」「旧スタートコーチ (スポーツ少年団) 資格」や、旧認定員資格を保有していた方が移行して取得した「スポーツコーチングリーダー」(旧コーチングアシスタント) などが対象の資格となります。

来年度も県内市町村にて開催予定です。皆様のご参加をお待ちしています。詳しくは総合サイト (下記QRコード) をご確認ください。



1年のあゆみ



◀◀ 令和7年度県内ブロック交流会実績報告 ▶▶

	ブロック名	市町村数	構成市町村名	開催日	内 容	参加者数
1	水戸市	1	水戸市	12月6日	ボウリング	111名
2	水戸	8	笠間市・那珂市・小美玉市・茨城町・城里町 大洗町・東海村・ひたちなか市	未実施	—	—名
3	大子・常陸大宮	2	大子町・常陸大宮市	12月7日	レクリエーション (モルック)	60名
4	常陸太田	1	常陸太田市	12月6日	フラッグフットボール	78名
5	日立	1	日立市	1月17日・2月22日	バドミントン大会・バレーボール大会	149名
6	県北	4	日立市・常陸太田市・北茨城市・高萩市	2月16日	駅伝競走	320名
7	鹿島	3	神栖市・鹿嶋市・潮来市	2月7日	鬼ごっこ、エアボールゲーム、玉入れ	31名
8	あおぞら	2	行方市・鉾田市	11月29日	大なわ飛び、ドッチビー体験	8名
9	石岡	2	石岡市・かすみがうら市	11月30日	駅伝競走	223名
10	つくば	1	つくば市	10月11日	スポーツ鬼ごっこ交流会	210名
11	取手	4	利根町・つくばみらい市・取手市・守谷市	11月23日	ボウリング大会	86名
12	牛久	7	土浦市・龍ヶ崎市・美浦村・稲敷市・阿見町 河内町・牛久市	未実施	—	—名
13	筑西	2	筑西市・桜川市	1月25日	バレーボール交流大会	136名
14	常総	4	結城市・八千代町・下妻市・常総市	1月18日	スポーツ少年団駅伝大会	500名
15	古河	4	境町・古河市・五霞町・坂東市	2月22日	ニュースポーツ体験 (カンタンポッチャ、ユニカル、モルック)	73名
					合計	1,985名

令和7年度第42回茨城県スポーツ少年団スポーツ大会事業報告書

軟式野球 茨城県軟式野球連盟		7月5日(土)・6日(日)・12日(土)・13日(日)	
団員：600名 指導者：92名 32チーム			
◇トーナメント戦		優勝	荳崎ファイターズ(つくば市)
		準優勝	豊ナインズ(つくばみらい市)
		第3位	杉並ライオンズ(石岡市)・神栖マリーンズ(神栖市)
バレーボール 茨城県バレーボール協会・茨城県小学生バレーボール連盟		11月8日(土)・9日(日)	
団員：650名 指導者：180名 71チーム			
◇トーナメント戦		女子の部	優勝 あみ桜輝バレーボール(阿見町)
		男子の部	優勝 ファンタジスト(つくばみらい市)
		混合の部	優勝 八千代町バレーボール(八千代町)
ミニバスケットボール (一社)茨城県バスケットボール協会		7月31日(木)～8月3日(日)	
団員：850名 指導者：120名 63チーム			
◇コート別トーナメント戦・リーグ戦			
7/31	男子の部	優勝	石岡KIDミニバスケットボール(石岡市)
	女子の部	優勝	鉢形小ミニバスケットボール(鹿嶋市)
8/1	男子の部	優勝	つくば東ミニバスケットボール(つくば市)
	女子の部	優勝	麻生ミニバスケットボール(行方市)
8/2	男子の部	優勝	土浦ミニバスケットボールクラブ(土浦市)
		優勝	KTI SEAGULLS(北茨城市)
		優勝	緑岡ミニバスケットボール(水戸市)
	女子の部	優勝	RBC茨城ミニバス(高萩市)
		優勝	息栖ミニバスケットボール(神栖市)
		優勝	取手西ミニバスケットボール(取手市)
		優勝	常北MBC(城里町)
		優勝	守谷ファインズミニバスケットボール(守谷市)
8/3	男子の部	優勝	美浦トップガン(美浦村)
		優勝	古河MBC RISING(古河市)
		優勝	TBC(東海村)
	女子の部	優勝	常磐ミニバスケットボール(水戸市)
		優勝	大洋ミニバスケットボール(鉾田市)
		優勝	石神ミニバスケットボール(東海村)
サッカー (公財)茨城県サッカー協会		11月15日(土)・16日(日)	
団員：600名 指導者：60名 30チーム			
◇ブロック別リーグ戦		1組	優勝 エターナルFC(小美玉市)
		2組	優勝 中根FC(牛久市)
		3組	優勝 MAEDA D2C SSS(つくば市)
		4組	優勝 八千代SS(八千代町)
ソフトボール 茨城県ソフトボール協会		7月26日(土)・27日(日)	
団員：176名 指導者：36名 12チーム			
◇トーナメント戦		男子の部	優勝 菅谷五台ソフトボール(那珂市)
		準優勝	佐野ソフトボール(ひたちなか市)
		第3位	松ヶ丘エース(守谷市)・前渡ソフトボール(ひたちなか市)
	女子の部	優勝	フェニックス(かすみがうら市)
卓球 (一社)茨城県卓球連盟		6月29日(日)	
団員：113名 指導者：9名 9チーム			
◇男女別個人戦 予選リーグ戦 決勝トーナメント戦			
小学4年生以下	男子	優勝	藤島 瑞(東海卓球)
	女子	優勝	山田 愛佳(日立マインタル卓球)
小学6年生以下	男子	優勝	福田 海斗(東海卓球)
	女子	優勝	小林 奈央(東海卓球)
中学3年生以下	男子	優勝	大串 洸介(東海卓球)
	女子	優勝	横山菜々実(水戸市卓球)
柔道 茨城県柔道連盟		10月25日(土)	
団員：372名 指導者：44名 22チーム			
◇小学生の部個人戦(学年別トーナメント戦)			
小学1年生の部(男女混合)	優勝	谷 大和(龍ヶ崎柔道)	
小学2年生の部(男女混合)	優勝	大野 桜悠(高萩市柔道)	
小学3年生の部(男女混合)	優勝	東 慶次郎(龍ヶ崎柔道)	
小学4年生(男子の部)	優勝	相沢映太郎(中郷柔道)	
	(女子の部)	優勝	海野 心美(中郷柔道)
小学5年生(男子の部)	優勝	篠崎 寿人(下妻優心塾)	
	(女子の部)	優勝	大野 未悠(高萩市柔道)
小学6年生(男子の部)	優勝	寺沼 利琉(無心塾飯島道場)	
	(女子の部)	優勝	門倉 光那(龍ヶ崎柔道)
◇中学生の部個人戦(学年別・男女別トーナメント戦)			
中学1年	男子軽量級	優勝	與澤 樹(無心塾飯島道場)
	男子重量級	優勝	堀和 辰起(無心塾飯島道場)
	女子	優勝	岩永 妃夏(龍ヶ崎柔道)
中学2年	男子軽量級	優勝	金山 結紀(高萩市柔道)
	男子重量級	優勝	曾澤 理杏(高萩市柔道)
	女子	優勝	齋藤 遥(龍ヶ崎柔道)
中学3年	男子軽量級	優勝	菅波 一虎(中郷柔道)
	男子重量級	優勝	芳賀 大樹(中郷柔道)
	女子	優勝	植木 寧々(無心塾飯島道場)
剣道 (一財)茨城県剣道連盟		12月20日(土)	
団員：241名 指導者：28名 28チーム			
◇小学生団体戦(トーナメント戦)		優勝	土浦市
		準優勝	ひたちなか市
		第3位	筑西市・那珂市
◇中学生個人戦(トーナメント戦)		男子	優勝 濱口 日月(日立ジュニア剣道クラブ)
		準優勝	鈴木 諒司(水戸剣心会)
		第3位	武藤 慧大(額田誠心館)
		敢闘賞	中島 登陸(芳明館)
	女子	優勝	塩 菜々美(芳明館)
		準優勝	海老原 杏莉(小川少年剣友会)
		第3位	バルザー アリサ(御城館)
		敢闘賞	鹿内 彩羽(霞ヶ浦剣道)

空手道 茨城県スポーツ少年団		空手道専門委員会		9月28日(日)	
団員：356名 指導者：78名 34チーム					
◇個人戦形、組手学年別トーナメント戦					
有級の部	形	幼年男女	優勝	佐藤 伊吹(茨城自然会)	
		小学1年男子	優勝	金田 大志(茨城自然会)	
		女子	優勝	石川陽音莉(豊里空手道)	
		小学2年男子	優勝	坂本 湊汰(一空会)	
		女子	優勝	荒井 里咲(明野空手道)	
		小学3年男子	優勝	小島 陽太(岩瀬空手道)	
		女子	優勝	古林 愛幸(一空会)	
		小学4年男子	優勝	鈴木 尊(岩瀬空手道)	
		女子	優勝	蔵田 風香(一空会)	
		小学5年男子	優勝	中島 秀彪(一空会)	
		女子	優勝	川口莉乃亜(勝田空手道)	
		小学6年男子	優勝	吉田圭司郎(豊里空手道)	
		女子	優勝	小澤 天(大洗町空手道)	
		中学1年男子	優勝	椎名 海翔(流空会)	
		中学2年男子	優勝	鎌田 美桜(一空会)	
有段の部	形	小学3年男子	優勝	藤澤 亜蓮(青雲塾)	
		女子	優勝	岩佐 小春(取手市少年空手)	
		小学4年男子	優勝	一ノ瀬 篤(一空会)	
		女子	優勝	栗本夕里杏(豊里空手道)	
		小学5年男子	優勝	柏 貴文(糸洲会つくば)	
		女子	優勝	田崎 千尋(岩瀬空手道)	
		小学6年男子	優勝	久米田篤徳(見川空手道)	
		女子	優勝	梶 粟菜(フレンドシップ)	
		中学1年男子	優勝	戸田 海翔(流空会)	
		女子	優勝	北市 めく(糸洲会つくば)	
		中学2年男子	優勝	近藤 颯竜(流空会)	
		女子	優勝	高崎ほのか(筑西空手道)	
		中学3年男子	優勝	藤澤 義隆(青雲塾)	
有級の部	組手	小学1年男子	優勝	富永 絢心(佐野空手道)	
		女子	優勝	宇都木 澤(豊里空手道)	
		小学2年男子	優勝	木滝 聖栄(青雲塾)	
		女子	優勝	川口美羽亜(勝田空手道)	
		小学3年男子	優勝	松本 陸斗(流空会)	
		女子	優勝	草野 凜(青雲塾)	
		小学4年男子	優勝	山室 裕翔(総和空手道)	
		女子	優勝	川谷佳夏子(見川空手道)	
		小学5年男子	優勝	田中 龍斗(総和空手道)	
		女子	優勝	川口莉乃亜(勝田空手道)	
		小学6年男子	優勝	石川 莉玖(総和空手道)	
		女子	優勝	川井ひまり(佐野空手道)	
		中学1～2年男子	優勝	椎名 海翔(流空会)	
		中学女子	優勝	ダックス 美央(取手市少年空手)	
有段の部	組手	小学3年男子	優勝	フェルナンド 愛美楽(豊里空手道)	
		女子	優勝	和田 笑佳(神栖市)	
		小学4年男子	優勝	田邊 琉斗(神栖市)	
		女子	優勝	宮田 彩希(神栖市)	
		小学5年男子	優勝	境 理秀(神栖市)	
		女子	優勝	和田 采花(神栖市)	
		小学6年男子	優勝	松崎 海莉(総和空手道)	
		女子	優勝	横須賀理花(勝田空手道)	
		中学1年男子	優勝	我妻 雅輝(フレンドシップ)	
		女子	優勝	齋藤 小雪(総和空手道)	
		中学2年男子	優勝	関戸 大樹(流空会)	
		女子	優勝	石塚 一花(流空会)	
		中学3年男子	優勝	藤澤 義隆(青雲塾)	
レスリング 茨城県レスリング協会 8月9日(土)					
団員：43名 指導者：22名 5チーム					
◇階級別、個人戦トーナメント戦					
幼年		優勝	中里 亜輝(水戸市レスリング)		
小学1・2年の部	20kg級	優勝	高畠 生糸(日立市レスリング)		
	23kg級A	優勝	永井 琥珀(ひたちなか市レスリング)		
	23kg級B	優勝	高畠 沫(日立市レスリング)		
	26kg級	優勝	工藤 大煌(取手レスリング)		
	+29kg級	優勝	藪内 嶺(大子Jrレスリングクラブ)		
小学3・4年の部	24kg級	優勝	中里 尚久(水戸市レスリング)		
	28kg級	優勝	平沼 太誠(取手レスリング)		
	32kg級	優勝	櫻井 龍大(取手レスリング)		
	36kg級	優勝	工藤 元気(取手レスリング)		
	40kg級	優勝	飯塚 琉唯(ひたちなか市レスリング)		
小学5・6年の部	30kg級	優勝	岩間 雄剛(水戸市レスリング)		
	33kg級	優勝	鈴木 健人(取手レスリング)		
	37kg級	優勝	石川 弦也(水戸市レスリング)		
	41kg級A	優勝	佐々木駿介(取手レスリング)		
	41kg級B	優勝	神代 隆馬(日立市レスリングクラブ)		
	49kg級	優勝	菊池 玲音(大子Jrレスリングクラブ)		
	+49kg級	優勝	飯塚 功琉(ひたちなか市レスリング)		
	女子30kg級	優勝	小島有梨花(取手レスリング)		
	女子37kg級	優勝	上田 千晃(水戸市レスリング)		
	女子45kg級	優勝	櫻井 花和(取手レスリング)		
中学生の部	38kg級	優勝	関 竜煌(日立市レスリング)		
	48kg級	優勝	上田 将生(水戸市レスリング)		
	68kg級	優勝	上田 悠生(水戸市レスリング)		
	女子44kg級	優勝	鈴木 結良(取手レスリング)		
	女子50kg級	優勝	山中 鼓子(取手レスリング)		

バドミントン 茨城県バドミントン協会・茨城県バドミントン少年団連盟		8月30日(土)		団員:142名 指導者:38名 24チーム
男女別団体戦(予選リーグ、決勝トーナメント)				
男子の部	優勝	いばらきジュニア(石岡市)	準優勝	あけのChallenge(筑西市)
	第3位	東少年バドミントン(石岡市)	藤代ジュニアバドミントン(取手市)	
女子の部	優勝	ハルトノクラブA(つくば市)	準優勝	いばらきジュニア(石岡市)
	第3位	あけのChallenge(筑西市)	ひたちなかバドミントンA(ひたちなか市)	
ソフトテニス 茨城県ソフトテニス連盟		8月30日(土)・8月31日(日)		団員:432名 指導者:38名 197チーム
◇男女別ダブルス戦(予選リーグ、決勝トーナメント)				
小学生の部 低学年 男子	優勝	宇都木麗季(古河北利根ジュニア)	中島 悠輝(古河北利根ジュニア)	
	女子	池田 美詩(美浦、中川 結愛(下妻クラブJr.))		
小学生の部 高学年 男子	優勝	山田 蒼介(神栖、金森 蓮(神栖))		
	女子	齊藤 結衣(下妻JST)、齊藤 芽衣(下妻JST)		
中学生の部	優勝	染野 大哉(豊浦、藤本 真央(豊浦))		
	女子	荒川 琴美(土浦STC)、林 楓恋(土浦STC)		
少林寺拳法 茨城県少林寺拳法連盟		6月1日(日)		団員:119名 指導者:71名 13チーム
◇演武別 階級別				
幼年規定単独の部	優勝	仙波 ロメオ 幸(筑西)		
小学生見習〜7級規定単独の部	優勝	富山 玲奈(ひたちなか市湊)		
小学生6級規定単独の部	優勝	三本松 慧(茨城三和)		

小学生5級〜4級規定単独の部	優勝	益子 凛大(茨城神栖)	
小学生3級〜1級規定単独の部	優勝	染田 稀未(筑西)	
小学生有段単独の部	優勝	伊藤煌太郎(茨城神栖)	
中学生単独の部	優勝	安藤 優希(茨城神栖)	
小学生規定(見習〜7級)の部	優勝	関矢 駿(水戸、須能 光誠(水戸))	
小学生規定(6級〜4級)の部	優勝	間中 雄大(つくば花畑)、會原 碧(つくば花畑)	
小学生規定(3級〜1級)の部	優勝	柳町 湊(つくば花畑)、植田晴之介(つくば花畑)	
小学生有段の部	優勝	伊藤煌太郎(茨城神栖)、米村 直人(茨城神栖)	
中学生の部	優勝	長塚 開(取手市スポーツ少年団少林寺拳法部)	
		谷内 敦(取手市スポーツ少年団少林寺拳法部)	
小学生団体の部	優勝	ひたちなか市松戸A(ひたちなか市)	
水泳 (一社)茨城県水泳連盟		8月17日(日)	
		団員:117名 指導者:28名 7チーム	
◇記録会 小学男女・中学男女			
駅伝 (一財)茨城陸上競技協会		12月13日(土)	
		団員:238名 指導者:72名 30チーム	
男子の部	優勝	アスレック(阿見町)	
	準優勝	下妻FC1984(下妻市)	
	第3位	常陸大宮市陸上(常陸大宮市)	
女子の部	優勝	鉾田陸上A(鉾田市)	
	準優勝	アスレック(阿見町)	
	第3位	常陸大宮市陸上(常陸大宮市)	
区間賞	各区間において、最高記録を樹立した選手に授与		
	団員	参加合計	(前年比)
	指導者	5,049名	(-91名)
	チーム	916名	(+58名)
		577チーム	(+140チーム)

令和7年度全国・関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会茨城県大会報告書

競技	主管	期日	参加数	内容	
				結果	
軟式野球 (関東)	茨城県軟式野球連盟	6月14日(土) 15日(日) 21日(土) 22日(日)	648名 32チーム	◇トーナメント戦 優勝 荻崎ファイターズ(つくば市) 準優勝 楠クラブ(結城市) 第3位 諸川ファイターズ(古河市)	
バレーボール (関東)	茨城県バレーボール協会 茨城県小学生バレーボール連盟	7月5日(土) 13日(日)	600名 44チーム	◇トーナメント戦 優勝 あみ桜輝バレーボール(阿見町) 準優勝 VC二千翔exvert(つくば市) 第3位 佐竹バレーボール(常陸太田市)・TOKAI(東海村)	
バレーボール (全国)	茨城県バレーボール協会 茨城県小学生バレーボール連盟	11月8日(土) 9日(日)	830名 71チーム	◇トーナメント戦 女子の部 優勝 あみ桜輝バレーボール(阿見町) 準優勝 小田ファイターズ(つくば市) 第3位 TOKAI(東海村)・VC二千翔exvert(つくば市) 男子の部 優勝 ファンタジスト(つくばみらい市) 準優勝 ジュニアバレーボールクラブ水戸(水戸市) 第3位 関城TEPPEN(筑西市)・真鍋バレーボール(土浦市)	男女混合の部 優勝 八千代町バレーボール(八千代町) 準優勝 小美球ブルーインパルス(小美玉市) 第3位 さくらキッズ(鉾田市)・ブルーバース(稲敷市)
ミニバスケットボール (関東)	(一社)茨城県バスケットボール協会	6月28日(土) 29日(日)	600名 32チーム	◇トーナメント戦 男子の部 優勝 下妻ジャスティスJr.(下妻市) 準優勝 総和B-BOYS(古河市) 第3位 菅谷東ミニバスケットボール(那珂市)	女子の部 優勝 陽光台LOVERS(つくばみらい市) 準優勝 大野ミニバスケットボール(鹿嶋市) 第3位 北守谷Crows(守谷市)
バドミントン (関東)	茨城県バドミントン協会 茨城県バドミントン少年団連盟	6月8日(日)	136名 23チーム	◇トーナメント戦 男子シングルス 優勝 長谷川純斗(いばらきジュニアバドミントンクラブ) 準優勝 鈴木 翔太(藤代ジュニアバドミントン) 第3位 道野 隼士(ひたちなかバドミントン) 大里 颯汰(下妻バドミントン) 男子ダブルス 優勝 大橋 優翔・小倉 結生(あけのチャレンジ) 準優勝 反町 維吹・細谷 元尊(ラディウス豊) 第3位 池松 奏・伊藤 海晴(いばらきジュニアバドミントンクラブ) 松嶋 颯汰・吉田 悠生(東少年バドミントン)	女子シングルス 優勝 木城 悠(あけのチャレンジ) 準優勝 藤森 結海(ハルトノクラブ) 第3位 飯塚 陽音(Infini) 是別 結音(明野ちびっこバドミントンクラブ) 女子ダブルス 優勝 遠峰 真衣・景山 凜音(あけのチャレンジ) 準優勝 横川 葵・猪野 杏莉(あけのチャレンジ) 第3位 浦山 由愛・徳島 恵音(ひたちなかバドミントン) 小山 蘭寿・池安 月音(ナイスショットバドミントンクラブ)
空手道 (関東)	茨城県スポーツ少年団空手道専門委員会	5月25日(日)	90名 16チーム	◇個人戦形、組手学年別トーナメント戦 小学4年生 男子 形 優勝 栗原 昭斗(青雲塾ジュニア空手クラブ) 準優勝 一ノ瀬 篤(一空会) 第3位 久米田明德(見川空手道) 小学5年生 男子 形 優勝 柏 貴文(糸洲会つくば支部) 準優勝 草野 權(青雲塾ジュニア空手クラブ) 第3位 池澤煉太郎(一空会) 小学6年生 男子 形 優勝 久米田篤徳(見川空手道) 準優勝 土屋 陽月(優和会空手道) 第3位 鬼澤 優斗(明野空手道) 小学4年生 男子 組手 優勝 樋口 将人(茨城剛柔館) 準優勝 松崎 荃莉(総和空手道) 第3位 白土 空(フレンドシップ空手クラブ) 小学5年生 男子 組手 優勝 久米 悠真(取手市少年空手教室) 準優勝 溝口 大生(神栖市空手道) 第3位 境 理秀(泊親会) 小学6年生 男子 組手 優勝 梅崎 健人(佐野空手道) 準優勝 小川 孔晴(多賀空手道) 第3位 高谷 知義(流空会)	小学4年生 女子 形 優勝 古橋 新(佐野空手道) 準優勝 栗本夕里杏(茨城剛柔館) 第3位 渡邊 真桜(拳勝会) 小学5年生 女子 形 優勝 川口莉乃亜(ひたちなか市勝田空手道) 準優勝 田寺 千尋(岩瀬空手道) 第3位 飛田 理心(ひたちなか市勝田空手道) 小学6年生 女子 形 優勝 梶 菓菜(フレンドシップ空手クラブ) 準優勝 廣瀬 日奏(明野空手道) 第3位 荒井 咲希(明野空手道) 小学4年生 女子 組手 優勝 宮田 彩希(泊親会) 準優勝 成島 千尋(取手市少年空手教室) 第3位 萩谷 陽花(神栖市空手道) 小学5年生 女子 組手 優勝 岩佐 小春(取手市少年空手教室) 準優勝 三井 美空(取手市少年空手教室) 第3位 佐々木陽莉(取手市少年空手教室) 小学6年生 女子 組手 優勝 堀内 真心(ひたちなか市勝田空手道) 準優勝 藤巻 玲奈(フレンドシップ空手クラブ) 第3位 稲餅 まい(取手市少年空手教室)

競技	主管	期日	内容	
			参加数	結果
剣道 (全国)	(一財)茨城県剣道連盟	12月20日 (土)	241名 28チーム	◇トーナメント戦 小学生団体戦 優勝 土浦市 準優勝 ひたちなか市 第3位 筑西市・那珂市 中学生個人戦 男子の部 優勝 濱口 日月 (日立ジュニア剣道クラブ) 準優勝 鈴木 諒司 (水戸剣心会) 第3位 武藤 慧大 (額田誠心館) 敢闘賞 中島 登陸 (芳明館) 女子の部 優勝 塩 菜々美 (芳明館) 準優勝 海老原杏莉 (小川少年剣友会) 第3位 ハルザー アリサ (御城館) 敢闘賞 鹿内 彩羽 (霞ヶ浦剣道)

令和8年度茨城県スポーツ少年団 行事予定 (案)

月	日	行事名	会場
4月	9日(木)	茨城県スポーツ少年団第1回常任委員会	アルテンジャパン武道館
	23日(木)	茨城県スポーツ少年団委員総会 指導者協議会代表者会議	アルテンジャパン武道館
	未定	茨城県スポーツ少年団リーダー総会兼リーダー研修会	未定
5月	上旬	市町村スポーツ少年団事務担当者会議	水戸生涯学習センター分館
	21日(木)	茨城県スポーツ少年団スポーツ大会実行委員会	アルテンジャパン武道館
	24日(日)	第45回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会茨城県大会 空手道大会	アルテンジャパン武道館
	31日(日)	第43回茨城県スポーツ少年団スポーツ大会 少林寺拳法大会	アルテンジャパン武道館
6月	4日(木)	茨城県スポーツ少年団指導者協議会第1回運営委員会	水戸生涯学習センター分館
	6日(土)	第45回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会茨城県大会 バドミントン大会	またたか観光アリーナ
	6日(土) or 7日(日)	第45回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会実行委員会	山梨県
	13(土)・14(日)・20(土)・21(日)	第45回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会茨城県大会 軟式野球大会	ノーブルホームスタジアム水戸ほか
	14日(日)	第9回ジュニアスポーツフォーラム	東京都
	27(土)・28(日)	第45回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会茨城県大会 ミニバスケットボール大会	またたか観光アリーナほか
7月	4(土)・5(日)・11(土)・12(日)	第43回茨城県スポーツ少年団スポーツ大会 軟式野球大会	高萩市民球場ほか
	4(土)・5(日)	第45回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会茨城県大会 バレーボール大会	またたか観光アリーナほか
	11日(土)・12日(日)	第45回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会軟式野球大会	山梨県
	18日(土)・19日(日)	第45回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会バレーボール大会	山梨県
	24(金)・25(土)・26(日)	第45回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会総会開会式・競技会期	山梨県
	29日(水)～8月13日(木)	第53回日独スポーツ少年団同時交流(派遣)	ドイツ
8月	1日(土)	第43回茨城県スポーツ少年団スポーツ大会 卓球大会	アルテンジャパン武道館
	1(土)・2(日)・8(土)・9(日)	第43回茨城県スポーツ少年団スポーツ大会 ミニバスケットボール大会	またたか観光アリーナ
	3(月)・4(火)・5(水)・6(木)・7(金)	第53回日独スポーツ少年団同時交流(受入)	鉾田市
	6日(木)	茨城県スポーツ少年団指導者協議会第1回運営委員打ち合わせ会	水戸生涯学習センター分館
	8日(土)	令和8年度スタートコーチ(ジュニア・ユース)養成講習会 つくば市①コース集合学習日	つくば市役所
	8(土)・9(日)・10(月)・11(火)	JAPAN GAMES JUNIOR & YOUTH2026	石川県
	8(土)・9(日)・10(月)・11(火)	エンジョイ! 軟式野球フェスティバル2026	岩手県
	15日(土)	令和8年度スタートコーチ(ジュニア・ユース)養成講習会 守谷市コース集合学習日	守谷市役所
	16日(日)	第43回茨城県スポーツ少年団スポーツ大会 水泳大会	山新スイミングアリーナ
	21日(金)～23日(日)	第60回茨城県スポーツ少年団大会兼第1回ジュニア・リーダースクール	茨城県立中央青年の家
	22日(土)	第43回茨城県スポーツ少年団スポーツ大会 レスリング大会	アグストリアみとアリーナレスリング場
	30(土)・31(日)	第43回茨城県スポーツ少年団スポーツ大会 ソフトテニス大会	水戸市総合運動公園
9月	5日(土)・6日(日)	第43回茨城県スポーツ少年団スポーツ大会 ソフトボール大会	笠松運動公園野球場
	6日(日)	第43回茨城県スポーツ少年団スポーツ大会 バドミントン大会	またたか観光アリーナ
	12日(土)	令和8年度スタートコーチ(ジュニア・ユース)養成講習会 坂東市コース集合学習日	岩井公民館
	19日(土)	令和8年度スタートコーチ(ジュニア・ユース)養成講習会 牛久市コース集合学習日	牛久運動公園
	20日(日)～22日(火祝)	第57回関東ブロックスポーツ少年団大会	群馬県
	20日(日)～23日(水祝)	シニア・リーダースクール	東京都
	27日(日)	第43回茨城県スポーツ少年団スポーツ大会 空手道大会	アルテンジャパン武道館
10月	2日(金)	茨城県スポーツ少年団指導者協議会第2回運営委員打ち合わせ会	水戸生涯学習センター分館
	10(土)・10(日)	第24回関東ブロックスポーツ少年団リーダー研究大会	栃木県
	17日(土)	第43回茨城県スポーツ少年団スポーツ大会 柔道大会	アルテンジャパン武道館
	18日(日)	令和8年度スタートコーチ(ジュニア・ユース)養成講習会 日立市コース集合学習日	池の川さくらアリーナ
	24日(日)	アクティブ チャイルド プログラム (JSPO-ACP) 都道府県普及促進研修会筑西市会場	協和多目的研修センター
	31日(土)・1日(日)	関東ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会	千葉県
11月	7(土)・8(日)	第43回茨城県スポーツ少年団スポーツ大会 バレーボール大会	かなくぼ運動公園総合体育館ほか
	14(土)・15(日)	第43回茨城県スポーツ少年団スポーツ大会 サッカー大会	堀原、笠松運動公園
	15日(日)	アクティブ チャイルド プログラム (JSPO-ACP) 都道府県普及促進研修会東海村会場	東海村総合体育館
	28日(土)	令和8年度スタートコーチ(ジュニア・ユース)養成講習会 古河市コース集合学習日	イーエスはなもも体育館
	未定	全国スポーツ少年団リーダー連絡会	東京都※オンライン併用
12月	5日(土)・6日(日)	第2回ジュニア・リーダースクール	茨城県立中央青年の家
	12日(土)	第43回茨城県スポーツ少年団スポーツ大会 駅伝競走大会	水戸信用金庫スタジアムほか
	17日(木)	茨城県スポーツ少年団指導者協議会第3回運営委員打ち合わせ会	水戸生涯学習センター分館
	26日(土)	第43回茨城県スポーツ少年団スポーツ大会剣道大会兼第49回全国スポーツ少年団剣道交流大会茨城県大会	アルテンジャパン武道館
	25(木)・26(金)・27(土)・28(日)	エンジョイ! バレーボールフェスティバル2026	茨城県
1月	16日(土)	令和8年度スタートコーチ(ジュニア・ユース)養成講習会 つくば市②コース集合学習日	つくば市役所
	30日(土)・31日(日)	令和8年度日本スポーツ少年団ブロック会議(関東ブロック)	山梨県
	未定	茨城県スポーツ少年団指導者研修会 - 公認スポーツ指導者資格更新研修 -	未定
3月	5日(木)	茨城県スポーツ少年団第2回常任委員会・指導者協議会第2回運営委員会	アルテンジャパン武道館
	27(金)・28(土)・29(日)	エンジョイ! 剣道フェスティバル2027	北海道

ガンバツテいきます!!

県北

中郷FCスポーツ少年団

中郷FCは北茨城市で2011年から活動するサッカーのスポーツ少年団です。現在、小学1年生から小学6年生まで、総勢47名で《1人のプロサッカー選手よりも、100人のサッカー好きを》をスローガンに、毎週土曜日・日曜日に「社会でリーダーシップが取れる人間性を育成する」を目的に活動しています。

選手権大会茨城県大会出場や、JA共済CUP2024第52回茨城県学年別サッカー大会茨城県大会出場など、様々な大会で活躍しています。

また、北茨城市スポーツ少年団交流大会や、北茨城市民夏まつりなど、地域の交流事業にも積極的に参加しています。

J1の鹿島・J2の水戸がそろって優勝し、茨城サッカー界隈には大きな波が来ています。この流れに乗り、より一層県内・市内のサッカーが盛り上がるよう、誠心誠意活動して参ります。



最後に、こ

れから卒団していく子ども達が、誇れるような場所になるよう指導者一同、頑張っています。

水戸

常陸大宮市陸上競技スポーツ少年団

本少年団は、来年創設十周年を迎える、まだまだ若い団です。活動は、毎週水曜日と金曜日の十八時から二十時まで、団員数は、ここ数年五十名前後で活動しています。

活動場所ですが、本市には陸上競技の練習ができるような整備された場所がないため、市内のコミュニティセンターグラウンドを借りて行っています。二百メートルトラックがやっと取れる程の広さですが、貸していただけることに感謝して、夏場の除草作業は、団員と保護者、コーチが協力して行っています。

雨天時には、市内の体育館を借りて行い、週二日の練習日



をなるべく休まないようにしています。

また、活動時間が夕方から夜にかけてという事で、暗くなれば発電機二台、投光器七台で明かりを採りながらの活動です。薄暗い中での活動の為、特にけがの防止には気を使っています。



このような環境の中での練習ですが、団のモットーは「みんな仲良く、チームとして練習に取り組もう」です。子どもたちはみんな笑顔で、暑さ寒さの中でも元気に練習しており、徐々にではありますが力が付けて来ています。十二月に行われた「茨城県スポーツ少年団スポーツ大会駅伝競走の部」では、男女共に第三位に入賞することができました。

最後になりますが、我々指導者の高齢化が進んでいます。あと何年指導ができるか

分かりませんが、頑張っている子どもたちに負けないよう、老体に鞭打って指導していきたいと思っています。



中央

鉾田ユナイテッドBBCスポーツ少年団

私たち鉾田ユナイテッドベ이스ボールクラブスポーツ少年団は、鉾田市の三チームが集まってできた軟式野球チームです。

2025年の春に設立してまだ一年目を終えたばかりですが、三チームそれぞれの経験豊富な指導者が指導方法を共有し、子どもたちをしっかり指導しています。

一年を通して感じたことは、この指導力が他にはない大きな強みだと思います。

また技術的な指導は勿論ですが、礼儀やチームワークの大切さもしっかりと教えていくことを、チーム内の指導者で意思を共有しています。

チームが目指す成長に不可欠な「競争心」も、当団では育むことができます。

人数が多い環境は、子どもたちの成長にとって絶好の機会です。チーム内で仲間と切磋琢磨し、レギュラーを目指して努力する経験は、技術の向上だけでなく「もっと頑張ろう」

という向上心や、困難に立ち向かう強い心を育てます。

そして中学、高校に進学しても通用する基礎技術と野球への深い理解を育むことを指導の根幹に据えています。

活動拠点は銚田市大洋地区の中居球場がメインです。グラウンド二面を利用して高学年と低学年に分けて指導する機会も設けています。駐車ス



ベースも広く多くの大会でも利用しています。

ほかには、父母会が中心となって親子で楽しめるイベントを企画・運営し、子どもた

県南

守谷に根差して三十七年、心身を育む「大野ミニバスケットボール女子スポーツ少年団」

守谷市の大野小学校と黒内小学校の体育館に、今日も子どもたちの元気な声とボールの音が響き渡ります。守谷市ミニバスケットボール連盟に所属する「大野ミニバスケットボール女子スポーツ少年団」は、結成から三十七年目を迎える伝統あるチームです。現在は一年生から六年生まで約六十名の女子団員が在籍し、県内トップレベルの活気にあふれています。

当団が最も大切にしているのは、バスケットボールを通じた「健全な心身の育成」と、相手を尊重する「フェアプレイの心」です。十一

ちを側面からサポートしています。

今後も指導者、団員、保護者が一丸となってガンバっていきます。



守谷市の熱心な指導者のもと、低学年は平日週二日、高学年は週三日の練習に励み、主に週末に行われる大会や練習試合に参加しています。勝利至上主義に偏ることなく、発達段階に応じたトレーニング計画に基づき、学年やレベルに合

わせた丁寧な指導を徹底。学習との両立やプレータイムの配分にも配慮し、子どもたちが長く競技を楽しめる環境づくりを重視しています。

競技面においても、近年は県大会で常に上位入賞を果たし、全国大会や関東大会への出場を重ねるなど、着実な成果を挙げられています。現在は来月に控えた関東大会に向け、チーム一丸となってディフェンスの強化に取り組んでいる

県西

石下MBC（ミニバスケットボールクラブ）

石下MBC（ミニバスケットボールクラブ）は、このたび創立三十周年という大きな節目を迎えました。長きにわ



ところでは、「最後まで諦めない心」と「仲間への声掛け」を胸に、1つのボールを全員でつなぐ強い絆が私たちの自慢です。

これからも地域の皆様への感謝を忘れず、バスケットボールの普及と子どもたちの健やかな成長のために邁進してまいります。今後とも温かいご声援をよろしくお願いいたします。

たり地域のスポーツ振興に貢献してきた歴史は、関わってきた多くの人々の情熱と努力の証です。

当チームは、男子・女子共に活動しているミニバスケットボールチームです。

未来ある子どもたちが、バスケットボールを通して健全な心と体を育む場として、日々熱心に練習に励んでいます。

活動の根底には、チームワークや礼儀を重んじる指導があり、技術向上はもちろんのこと、社会性や協調性も身につけられるよう努めています。

現在、石下MBCのメンバーたちは、男女ともに「県大会出場」という具体的な目標を掲げ、練習に打ち込んでいます。日々の練習では、基礎体力や個々のスキルアップに加え、試合で活きる連携プレーの精度を高めることに重点を置いています。特に、創立三十周年という記念すべき年に、目標達成に向けてチーム一丸となって「頑張っています」。

これからも、石下MBCは、地域の皆様の温かいご支援を受けながら、さらなる高みを目指し、未来を担う子どもたちの育成に尽力してまいります。選手たちの真摯な努力が実を結び、コートで輝く姿を見せられるよう、熱い応援をよろしく願っています。





NO!
スポーツハラ

スポーツ・ハラスメント (暴力、暴言、ハラスメントなど) に、
みんなが『NO!』と言う社会を目指して

『スポーツハラ (スポーツ・ハラスメント)』とは？

「スポーツハラ (スポーツ・ハラスメント)」とは、スポーツの現場において、「暴力」、「暴言」、「ハラスメント」、「差別」など“安全・安心にスポーツを楽しむことを害する行為”のことです。

指導者と指導を受ける者との関係のみならず、スポーツの現場における関係者の誰によっても、また誰に対してであっても、スポーツハラは起こりえます。



スポーツ安全保険
2025版は、スポーツ指導者の負担を軽減し、安心・安全にスポーツを楽しむための取り組みです。

更新研修のご案内

公認スポーツ指導者資格の有効期間は、資格登録後4年間です。資格を更新するためには、**資格認定日(更新日)**から**資格有効期限の6ヶ月前までに**、下記記載の日本スポーツ協会あるいは当該中央競技団体等の定める研修会を最低1回受けることが必要です。研修受講期限までに、更新研修を受講しなかった指導者へは更新登録案内が送付されませんのでご注意ください。なお、「スポーツリーダー」については、永年認定資格のため登録・更新はありません。

資格認定日
(10月1日or4月1日)

資格有効期限
(9月30日or3月31日)

資格有効期間(4年間)

次の資格有効期間

更新研修受講期間(3年6か月)

更新手続き
※有効期限の約2か月前

編集後記

昨年東京で開催された世界陸上から始まり、今年はいタリアの冬季オリンピック、サッカーワールドカップ、日本で開催されるアジア大会など大きなスポーツイベントが続きます。その盛り上がり子どもたちにとっても良い刺激になると思います。

子どもたちがスポーツを行う

環境は年々厳しくなってきましたが、少しでも多くの子どもたちがスポーツを楽しめるような環境作りに努めていかなければならないと感じます。

これからも、子どもたちの頑張りを応援し、スポーツ少年団の活動を盛り上げられるよう、広報誌を通して情報発信に努めてまいります。

最後に、原稿投稿にご協力いただきました皆様へ感謝申し上げます。

普及・広報委員会

委員長 川島 信義
副委員長 米川 優
委員 増田 利一
委員 友部 静江
委員 黒澤 浩二
委員 水野 幸男

日本スポーツ少年団団員綱領

- わたくしたちは、スポーツをとおして健康なからだを心で養います。
- わたくしたちは、ルールを守り、他人に迷惑をかけない、りっぱな人間になります。
- わたくしたちは、スポーツによって、自分の力を伸ばす努力をします。
- わたくしたちは、スポーツのよろこびを学び、友情と協力を大切にします。
- わたくしたちは、スポーツをとおして世界中の友だちと力をあわせ、平和な世界をつくります。

日本スポーツ少年団指導者綱領

- わたくしたちは、次の時代を担う子どもたちの健全育成のために努力します。
- わたくしたちは、スポーツのもつ教育的役割を果たすために努力します。
- わたくしたちは、子どもたちのもつ無限の可能性を開発するために努力します。
- わたくしたちは、つねに愛情と英知をもって子どもたちと行動するよう努力します。
- わたくしたちは、スポーツを愛する仲間とともに世界の平和を築くために努力します。

団体活動のための小さな掛金大きな補償

スポーツ安全保険

スポーツ活動、文化活動、ボランティア活動、地域活動、レクリエーション活動などを行う4名以上のアマチュアのクラブ・サークル・グループが加入できます。

保険の詳細内容、資料の請求はホームページをご覧ください。

インターネットでかんたん加入

https://www.sportsanzen.org

公益財団法人スポーツ安全協会